

オスプレイ配備撤回・普天間基地の無条件撤去を！

沖縄と連帯し「1・27東京集会」への参加を呼びかけます

昨年9月に沖縄で「オスプレイ配備反対沖縄県民大会」が10万人規模で開催されました。その後も沖縄県内の各市町村で、オスプレイ配備撤回、普天間基地の閉鎖・撤去を求める住民大会を開き、日米両政府に抗議し続けています。

沖縄県民大会の総意を携えて沖縄県民大会実行委員会を構成する41市町村長・議長らが上京して、1月27日（日）の午後3時から日比谷野外音楽堂で「東京集会」を開き、銀座をパレードします。翌日の28日（月）は、安倍首相への「直訴行動」など関係省庁への要請がおこなわれます。

本土でもオスプレイの危険な飛行訓練が

日米両政府は、沖縄県内で連日危険な飛行訓練をおこなっている米海兵隊のMV22オスプレイを本土にも分遣派遣し、全国各地で危険な低空飛行訓練をおこなおうとしており、爆音と墜落の危険が全国各地に拡大します。飛行ルート of 各自治体と住民は「飛行訓練反対」の意思を示しています。

嘉手納に米空軍所属のオスプレイ配備も

アメリカ政府は、米空軍のCV22オスプレイを沖縄県・嘉手納基地に配備することを明らかにしました。

CV22オスプレイは、MV22オスプレイより高い事故率であることが明らかになっています。沖縄県民と連帯し、1月27日の「東京集会」を成功させ、「オスプレイ配備撤回」の声をあげていきましょう。



沖縄北部の高江で低空飛行するオスプレイ

安倍首相の「辺野古基地建設」に沖縄県民の怒り沸騰

安倍首相は、総選挙後に「辺野古に新基地建設」を表明しました。ところが、昨年末の総選挙で、沖縄県から選出された自民党の代議士は「普天間基地の県外移設」を県民に公約し当選しました。沖縄県内ではオスプレイの強行配備とあわせて辺野古への新基地建設は認めないと、怒り心頭に達しています。

安倍首相訪米前に「埋め立て申請提出」の報道

昨年末、沖縄防衛局は辺野古新基地にかかわる環境評価書（アセスメント）の補正評価書を沖縄県に提出。

また、沖縄県の地元紙は「安倍首相は訪米前に辺野古の公有水面埋め立て申請を沖縄県に提出する」と報道しています。

普天間基地の無条件撤去・辺野古基地建設反対を日米両政府に突きつけていきましょう。

安保破棄中央実行委員会 Eメール anpohaiki@nifty.com
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2013年
1月